

令和7年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果について

本年4月に3年生を対象に実施いたしましたこの調査について、本校の結果をお知らせします。この調査結果を受け、分析と考察を行い、学習指導や授業改善に取り組んでおります。ご家庭でもお子様の指導等の参考にしていただければと思います。

1. 学力検査正答率の結果から（全国平均との比較）

- 国語：全国平均と比較して、やや下回っている。
- 数学：全国平均と比較して、ほぼ同様である。
- 理科：全国平均と比較して、下回っている。※比較の仕方が国語、数学とは異なります。

2. 各教科の成果と課題のあった問題（代表的なものを1問ずつ）

(1) 成果（正答率が全国平均と同等もしくは上回ったもの）

- ① 国語：目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる問題。大問1-二
- ② 数学：事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができるかどうかをみる。大問6（1）※以下参照
- ③ 理科：科学的な探求を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探求から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうかをみる問題。大問1（6）※以下参照

(2) 課題（正答率が全国平均と比較し、下回っているもの）

- ① 国語：資料から読み取ったことをもとに、接続する語句や指示する語句を用いて、適切に説明することができるかどうかをみる問題。大問1-三 ※以下参照
- ② 数学：事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題。大問8（2）※以下参照
- ③ 理科：電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる。大問1（1）

成果のあった問題

- 6 結素さんと来一さんは、3、6や12、15のような連続する2つの3の倍数の和がどんな数になるかを調べるために、次の計算をしました。

$$\begin{array}{ll} 3, 6 \text{ のとき} & 3 + 6 = 9 \\ 12, 15 \text{ のとき} & 12 + 15 = 27 \\ 30, 33 \text{ のとき} & 30 + 33 = 63 \end{array}$$

次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

- (1) 結素さんは、これらの計算の結果から、「連続する2つの3の倍数の和は、いつでも9の倍数になる」と予想しました。しかし、この予想は成り立ちません。この予想が成り立たないことを下のよう説明します。下の(1)から(3)までに当てはまる整数をそれぞれ書き、説明1を完成しなさい。

説明1

連続する2つの3の倍数が、例えば、(1)と(2)のとき、(1) + (2) を計算すると、和は(3)となり、9の倍数ではない。
したがって、「連続する2つの3の倍数の和は、いつでも9の倍数になる」という予想は成り立たない。

探究も振り返る

水通水、精製水について探究したことを発表しています。

水通水について

河川の水などを濾過装置で濾過すると、いろいろな生物がいるので、安全に飲むための工夫をしている。

河川の水などを浄水施設で濾過し、塩素を投入したものを水通水として利用している。

精製水について

理科の実験で使用する精製水は、水通水を蒸留したり、ろ過したりしてつくられ、無菌状態にある。

精製水とミネラルウォーターの違いは何かを調べている。

探究を通じて、さらに疑問に思ふたことに着目して振り返ります。

…水について、…ということが分り、…についてさらに疑問を感じたので…

Bさん

探究を通じて、はじめの考えから考えが変化したことに着目して振り返ります。

最初は…と思っていたが、…という考えに変わりました。

Cさん

探究を通じて、身近な生活とのつながりを思ひだすことに着目して振り返ります。

…の、身近な生活とのつながりがあることが分りました。

Dさん

- (6) 上の図表を見て、水通水と精製水の違いは、Bさん、Cさん、Dさんを参考にして、あなた独自の振り返りを書きなさい。

振り返り

課題のあった問題

- 1 下の1から9までの数の中から素数をすべて選び、選んだ数のマーク欄を黒く塗りつぶしなさい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

素数に1は含まれないことを理解していない誤答が多かった

【工夫】と【感想の一部】を適切に関連付けて書くことに課題

【ちらし】(更新版②)

第一中学校 美術展

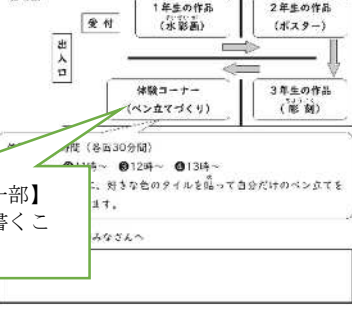
毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。取手が芸術の殿堂につくった作品を展示します。どれもかいたしの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。

日 時 令和7年11月15日(土) 10時～16時

場 所 第一中学校 体育館

会場図



- 四 今年の美術展では、昨年の美術展に登場した小学生の感想をもとに内容を工夫しています。中井さんは、そのことを【ちらし】(更新版②)の□の部分に書き加えることにしました。あなたならどのように書き加えますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 今年の美術展の【工夫】のA、Bから1つ選び(どちらを選んでもかまいません)、それと結び付く小学生の【感想の一部】をアからウまでの中から1つ選び、それぞれ振り返りなさい。

条件2 条件1で選んだ、今年の美術展の【工夫】と小学生の【感想の一部】との関係が分かるように、接続する語句や指し示する語句を使って書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

(3) 全体を通じて

- ① 成果：基礎的・基本的な知識・技能は有していると言える。また、表現力の向上がみられる。
- ② 課題：複数の情報を結び付けて、その関係を踏まえて表現することに課題がある。

3. 学校としての改善策

- ・ 学習の見通しとふり返りのある学習過程の中で、生徒の学習意欲と学力の向上を図ります。
- ・ 話し合い活動（ファシリテーション）を全教科で取り入れ、表現力を高めます。
- ・ まとめや発表の場面では「なぜそう考えたのか」など根拠を明確にして表現できるようにします。
- ・ 解答が条件を満たしているのかを生徒自身が振り返る場を設定します。
- ・ 一人一台端末など、ICT等の活用により、学び合いを活性化させ、学習事項の定着向上を目指して授業改善を行います。
- ・ 望ましい生活・学習習慣の確立を目的に「フォーサイト手帳」を活用して指導します。
- ・ 放課後を活用した補充学習や宿題、自学課題提示、1人1台端末等を活用した課題などを通じて、個別に最適化された家庭学習を推進します。
- ・ 進路指導とキャリア教育を推進し、生徒が自らの将来について考え、将来の夢や目標を持てるようにします。
- ・ 夢や目標の実現のために、自分の生活上の課題を改善し、主体的に学びに向かおうとする気持ちを高める取組を一層進めていきます。

4. 生徒質問紙による学習状況に関する調査

(1) 全国の回答と比較し、良い傾向の項目（全国比+10%以上の項目で代表的なもの）

- 自分にはよいところがあると思いますか。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- 人が困っているときは、進んで助けますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
- 1, 2年生のとき受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
- あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章で作成する（文字・コメントを書く等）ことができると思いますか。
- 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか。
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。

(2) 全国の回答と比較し、改善が必要と思われる項目

- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く） 3時間以上
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 4時間以上

5. ご家庭へのご協力をお願い

○ 子どもたちが自分自身の意見を語る経験を

① 生徒が自分たちの「これからの生き方」が語れる経験を

地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う生徒は4割弱（全国2割弱）います。また、人の役に立つ人間になりたいと考える生徒が8割（全国7割弱）います。将来の夢や目標を持つ生徒が4割（全国3割強）いることから、自分のこれからの生き方を自分の力でしっかりと考え、語る経験を各家庭でも積み重ねてください。

② 生徒の話を最後まで聞く時間を作って下さい。

保護者の方の多くは、お仕事などで忙しく、時間があまりとれないかもしれませんが、お子さんの話を最後まで根気強く聞いてあげて下さい。話を途中でさえぎり「どうせ～なんですよ」と結論を先回りしていませんか。「それから？」「あなたはどう思ったの？」「～はどうなったの？」「私は～の方が良いと思ったけど、あなたは？」など、話を広げるリアクションをしてあげて下さい。生徒が最後まで話す機会を作っていただきたいと思います。

三中生の学力の課題は「根拠を明確にして表現する」「聞き手が理解しやすいかを考えながら表現する」「自分の考えていることが条件を満たしているのかを生徒自身が振り返る」ことです。これらは「話を聞いてもらう経験」を通じて自信のつくものだと言えます。ご家庭でもご協力お願いします。